平成２５年３月　１日

保護者のみなさまへ

大阪狭山市立北小学校
校　長　車谷　哲明

学校アンケートの集計結果について（お知らせ）

１月８日～１６日に実施いたしました学校アンケート調査では、３０９家庭の皆様に回答をいただき、誠にありがとうございました。本年度の学校アンケート調査の集計結果をお知らせするとともに、過去３年間を比較したまとめについて報告いたします。学校では現在、今年度の様々な教育活動の振り返りと次年度に向けた計画について、保護者の皆様からいただいたアンケート結果を参考にしながら次年度の計画の元を作っています。また、３月２１日に実施いたします学校協議会でも、調査結果等をもとに協議会委員の方からご意見を頂く予定をしております。

【保護者のアンケート調査結果より】

過去３年間（Ｈ２２～２４）の調査結果より、「教育活動に関するもの・学校経営に関するもの」の各項目の中で、肯定的評価（よくあてはまる・ややあてはまる）が**９０％程度以上を維持**できている項目は、（新は新たに評価が加わったもの）

- **学校は、学習内容や学級のようすなどを家庭に知らせている。（新）**
- **学校は、子どものことについて相談に応じてくれる。（新）**
- **子どもは、学校へ喜んで行っている。**
- **学校は、子どもの体力づくりに取り組んでいる。**
- **学校は、保護者が授業を参観する機会を適切にもうけている。**
- **学校が、保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。**

の６項目でした。（昨年は４項目）中でも、**「子どもは、学校へ喜んで行っている。」**項目が９４％前後を保っていることは、非常にうれしいことです。他方、肯定的評価が少ない項目としては

- **通知表は、子どもの学習や到達度の様子などが分かりやすく工夫されている。（71％）**
- **学校は、いじめのない学級づくりに取り組んでいる。（78％）**

の２項目でした。特に**「通知表は、・・・」**の項目は、昨年も６５％と低く、少しは改善されたと思いますが、さらなる工夫・改善や丁寧な説明が必要であると認識しています。

また、「家庭でのようす」の４項目については、肯定的評価の多いものと少ないものに２分されています。これは、昨年と同様です。

・家庭での学習習慣が身についている。(74%)

の項目で、肯定的評価が低いことについては、新たに取り組みを進めていく必要性を感じています。学校・ご家庭双方での協力のもと改善を図っていくべき事柄であると考えます。

上記以外にも、エアコンの整備、夏に冷水機の設置、プールの補修など、たくさんのご意見も頂きました。その他の項目については、ご家庭やＰＴＡ・関係機関と協力して、可能な限り改善していきたいと考えています。

【児童のアンケート調査結果より】

過去３年間の調査結果より、生活については、肯定的評価が連続して高い（９０％以上）項目は、低学年では１１項目中５項目、高学年では１１項目中９項目でした。

・家で歯みがきをしている。 低学年(95%)高学年(99%)

・朝ごはんを食べる。 低学年(99%)高学年(96%)

・あいさつをする。 低学年(94%)高学年(95%)

・友だちと仲良くできる。 低学年(95%)高学年(96%)

・家でお手伝いや、学校で掃除ができる。 低学年(91%)高学年(90%)

の５項目が低・高学年で共通して９０％を超えた項目です。昨年に比べ、あいさつをするとお手伝い・掃除ができるの項目が増えていることは嬉しいことです。その他の項目を低・高学年で比較したとき、低学年より高学年のほうが肯定的評価が高くなっています。この１年で取り組んだ成果であると考えます。しかし、「本をよく読む」項目は、低・高学年とも７０％台で、次年度に向けた取り組みを進める必要があります。また学習については、肯定的評価が比較的高い項目が低学年では

・楽しい行事が多い。(93%) **・学校へ行くのが楽しい。**(90%)

高学年では

・地震や火事、そして不審な人に会った時など危険なことが起こった時、どうしたらよいか教えてもらっている。(97%)

の１項目でした。一方、肯定的評価が低い(もしくは下がった)項目は

低学年では

・よく発表する。(51%) **・勉強で分からないことは、先生によく聞く。(57%)**

・困ったことは、先生にすぐ相談する。(64%)

高学年では

・学校にいくのが楽しい（84%↓７%）・授業がわかりやすい（87%↓４%）

・授業中、自分の意見をしっかり発表している。(56%↓3%)

・自分の努力したことは認めてくれる。(73%↓８%)

のそれぞれ３項目、３項目でした。特に、高学年でポイントが下がった３項目については授業や指導計画の見直しを行う参考にしていきたいと考えています。

全般的に見て、保護者からの評価は教育活動に関するものや学校経営に関するもの共、全体的に上昇傾向が見られ概ね満足のいく結果と捉えています。反面、子どもたちの調査結果から、課題が明確に抽出できます。特に高学年児童の意識が調査から「わかる授業のあり方」や肯定的な指導の方法について方針を打ち出していきたいと考えています。集団の中で、一人ひとりの存在感や自己肯定感を育める手立てを教職員とともに検討していきたいと考えています。引き続き、本校教育の推進にご協力・ご支援いただきますようよろしくお願いいたします。